

# 第2回ねごろ医用実学研究会講演会

日時：平成25年3月29日（金） 15:00～  
場所：生物理工学部 10号館・多目的室



## 【講演1】

東京医科歯科大学 生体材料工学研究所  
教授 岸田晶夫 先生

## 『再生医療用材料の新展開』

山中京大教授のノーベル賞受賞によりiPS細胞を用いた再生医療への期待は高まっているが、はたして細胞だけで再生医療は成り立つのであろうか？講演者は生体組織から細胞成分を除去した脱細胞化生体組織の医療応用を研究している。脱細胞化組織は欧米ではすでに新しい医療用素材として広く認知されている。本講演では脱細胞化組織を例に、再生医療における材料の重要性と材料が主導する再生医療の可能性について述べたい。

## 【講演2】

鹿児島大学大学院 理工学研究科  
助教 山元和哉 先生

## 『界面を反応場とした機能性材料の設計』

界面を反応場とした材料開発として、水晶振動子（QCM）を用いたアパタイトナノ単結晶の複合界面の形成や、刺激応答性高分子固定化材料の開発について報告する。QCMの振動数変化よりナノレベルでの複合体の形成化および機能性について評価した。

会場の都合から、聴講される方は予め、事務局までご連絡下さい。  
また、学生さんもふるってご参加下さい。

【事務局】担当 黒田

(内線5206, E-mail:kuroda@waka.kindai.ac.jp) 幹事：古菌（医用工学科）